

2021.11.30 配信

児童養護施設等サポーター通信

▼児童養護施設等サポーターホームページはこちら▼

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/13485.html>

平素は岐阜県児童養護施設等サポーター事業に格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

本メールは、児童養護施設等サポーターとしてご登録いただいたみなさまへお送りしております。

◆◆ I N D E X ◆◆

【1】 児童養護施設等ってどんなところ？
～第46回 自立支援ホーム しおん～

【2】 サポートのご報告
～児童養護施設等 1施設～

★☆☆

【1】 児童養護施設等ってどんなところ？
～第46回 自立支援ホーム しおん～

☆☆☆

○このコーナーでは毎回県内の児童養護施設等を1件ご紹介し、みなさまに子どもたちの元気な様子をお伝えします！

○今回は岐阜市にあります、自立支援ホーム しおんをご紹介します。
レポートをしてくださるのは、自立支援ホーム しおんの硯見さん です。

◆自立支援ホーム しおんはどういうところ？

しおんには、義務教育終了後、何らかの理由で家庭にいられなくなったり、児童養護施設等を退所し、働かざるを得なくなった、原則として15歳から20歳までの青少年が暮らしています。

「働かざるを得なくなった」という意味は、本人に十分な意欲と能力が備わっているか否かに関わらず、「すぐにでも自分が働いて生計を立てるしかない」状況を指します。

しかしほとんどの場合、15歳から20歳前後の彼らは、就労意欲や能力面、精神面でもまだまだ未熟で、自分だけの力で衣食住を満たし生活できる状況にあるとは言いがたいのが現状です。

このような「働かざるを得なくなった」彼らとスタッフが生活をともにし、彼らの自立に向けた準備を行うのが自立援助ホームです。

◆子どもたちの生活の様子を教えてください。

しおんのルールは、「仕事をする」「毎月2万円の利用料を納めること」「自立のために貯金すること」です。「入居者同士が安心して暮らせるように」約束はありますが、自分で考え行動し、就労しながら、自分で責任を負うことの厳しさを体験し、社会へ自立していくための準備をスタッフとともにしています。朝の起床から、洗濯や掃除、ゴミ捨てなど自分で出来ることは全て自分で行っています。

自分で働いて得たお給料から、貯金などの必要なお金以外は、自分の好きなことに使えるので、洋服を買ったり、友達と旅行へ行ったりして、余暇を過ごしています。

◆子どもたちの夢や目標は何ですか？

- ・普通自動車免許をとること。
- ・調理師資格をとること。
- ・定時制高校を卒業すること。
- ・毎日、休まず仕事へ行くこと。
- ・たくさん貯金をして一人暮らしをすること。
- ・大学に行くこと。

◆どういったサポートを求めますか？

・「働かざるを得なくなった」しおんに入居している子たちへのご理解をしていただいたうえで、そのような青少年たちの就労先としてサポートしていただけると有難いです。

・しおんを退去し一人暮らしを始めた子の中には、生活が軌道に乗らず不安定な子もいます。

一人暮らしに使えるような、電化製品や自転車などがありましたら、いただきたいです。

◆ I N F O M A T I O N ◆ :::::

::施設名 自立支援ホーム しおん

::住所 岐阜市切通6丁目15-35

